

なぐも ひろゆき  
南雲 弘行

連合・事務局長

## 2010年年頭に思う

明けましておめでとうございます。

新春をご家族の皆様とともに健やかに迎えるのこことお慶び申し上げます。また、連合組合員の中には、年末年始にもそれぞれの立場で業務に従事されている方が大勢いらっしゃいます。心より敬意を表したいと思います。

私は、昨年10月に開催された連合第11回定期大会において事務局長に選出いただき、古賀会長とともに連合運動を担うことになりました。

一昨年から昨年と、新自由主義を背景とした金融資本主義の破綻、オバマ民主党政権の誕生など世界的にも変化のきざしが生じ、日本においても政権交代など大きく舵が切られた年となり、環境情勢が大きく変わる中での連合新体制の船出となりました。

### 「厳しい雇用・就労環境」

2008年米国のサブプライムローン問題に端を発した金融危機は、全世界に連鎖し、実体経済をも直撃して世界同時不況に陥りました。わが国も例外ではなく、深刻な経済・雇用危機からいまだに回復できていません。また近年、雇用・就労環境が大きく変化し、非正規雇用労働者は全雇用労働者の4割にのぼる状況となり、ワーキングプアと呼ばれる年収200万円以下の労働者は1,000万人を超え、全雇用労働者の2割にまで達しています。生活保護世帯は2009年4月には120万世帯を超えるまでに急増しました。雇用構造の変化に対応する社会保障システムの整備が疎かにされてきたことも忘れてはなりません。今やわが国も貧困問題に直面するに至っています。

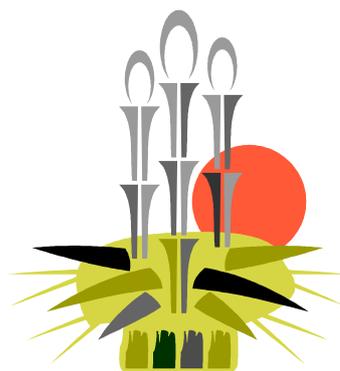
### 「政権交代」

国民生活中心の政治、国民主権の政治への転換を訴え闘った昨年8月末の衆議院解散・総選挙において、すべての連合組合員の悲願であった民主党を中心とする野党勢力が「政権交代」を成し遂げることができました。民主政治の確立、国民本位の政治の実現に向けて、連合の果たす役割と責任は格段に大きくなりました。連合は、生活者優先の社会への転換、勤労者・生活者の雇用と暮らしを重視する政治の実現、幅広い住民参加の地方分権社会への移行などを政策・制度の柱に掲げ、連合が期待する政治、社会の実現のため、新政権および連立与党との協力関係を強化し、積極的に連携することが求められています。特に喫緊の課題である雇用問題については、政府要請や協議を重ね、自らも雇用と自立支援のための活動を展開してまいりましたが、政権と力を合わせ、雇用と生活を守っていかねばなりません。

### 「平和 しあわせ 道ひらく」から 「すべての労働者のために」へ

昨年、連合は結成20周年を迎えました。「平和 しあわせ 道ひらく」、そして働く者みずからの「力と政策」をスローガンに連合は結成されました。総評・同盟・中立労連・新産別のナショナルセンター分立時代から、政策推進労組会議、統一推進会での議論を経て、1982年の全民労協、1987年の民間連合という系譜を辿り、1989年11月、ついに官民統一した現在の連合が結成されました。

結成以来、連合は、冷戦構造の終焉、グローバル化の進展、新自由主義の席捲、少子・高齢社会の到来など大きな潮流変化に



直面し、時代の変化を真正面から受け止め、改革にチャレンジしつつ、運動を進めてきました。

今、私達を取り巻く経済・雇用環境は極めて厳しいものになっており、個人の働き方、暮らし方はもとより生き方にまで影響を及ぼしています。今ほど労働組合の役割が問われる時代はありません。資本主義は民主主義によってコントロールされるべきであり、その最大のツールは労働組合です。連合は、組合員の労働条件向上、生活水準の維持・向上のためのみならず、すべての働く者、ひいては国民のための運動を目指さなければなりません。したがって、労働組合も、従来の発想からの脱却や意識改革、行動改革が求められています。これを連合組合員全体で自覚しなければなりません。

### 「希望と安心の社会作り」

パラダイムの転換のため今こそ、日本は希望の国に向け大きく舵を切り、「連帯と相互の支え合い」という協力原理が生かされる社会、ぬくもりのある思いやりのある社会に転換し、持続可能で子供達に夢を与えられる社会の構築に向けて、力強く連合運動を展開していかなければなりません。

今年こそ、日本経済・社会の底割れに歯止めをかけ、賃金水準の低下を阻止し、全ての労働者の生活を維持、防衛する観点から「2010春季生活闘争」の取り組みを強力に展開します。

非正規労働者の労働条件の底上げ・組織化と社会運動の展開も大変重要な運動課題です。組織拡大、集团的労使関係の再構築、社会的影響力ある働く者の連帯活動の強化などを目

指し、「労働の尊厳」を守り、困難な立場にある人のために取り組むという労働運動の原点に立ち戻り、社会的責任を果たしていく努力と運動を展開していきます。労働組合は、困難な環境を跳ねのけて新しいものを作り、次に出来上がったものを守り育て、環境変化の早い時代にあっては、従来の体験を乗り越え、新たな考えや理論に柔軟に転換することが求められています。労働組合は人間にとってなくてはならないシステム、社会の公器です。社会的存在としての役割の強化のために、構成組織・地方連合会との連携を強め運動を展開していきます。加えて、連合が求める社会像を提起し、その構築のための政策・制度の実現のため、新政権および連立与党との意見交換、協議の場を積極的に設け、連携を強化していきます。

### 「参議院選挙必勝」

今年7月に予定される参議院議員選挙は、衆議院・参議院で安定多数を確保してこそ、初めて政権交代が完遂し、民主党が目指す社会実現にとって大変重要な選挙となります。連合組織内候補の必勝はもとより、連合推薦議員の勝利に向け、連合本部、構成組織、地方連合会の総合力を発揮し、戦い抜いていきますので、これまでに倍するご支援ご協力をお願いします。

本年も重たい課題が輻輳する年となりますが、組織内外の対話を重ねながら、明るく、透明性のある運動を全力で進めていきます。皆様とご家族にとりまして、健康で希望に満ちた年となりますようお祈り申し上げ、年頭のご挨拶とします。